



新たな一歩を  
こころより  
応援します

五泉小学校 第149回卒業生

◆目次	ページ
第1回 2月定例会	2
委員会審査報告	
総務文教常任委員会	3
市民厚生常任委員会	3
建設産業常任委員会	4
請願	4
一般質問	
12人が市政を問う	5～9
発議	9
主な議案の議決結果	10～11
編集後記	12

新年度の一般会計予算は、241億2,000万円の前年度当初と比較して、4.9%の減となりました。特別会計を含む全会計の予算は404億5,042万5千円で前年度当初と比較して13億8,717万6千円、3.3%の減であります。

2月定例会では、慎重審議が行われ、市長が提案した32議案全てが、承認及び原案可決されました。

さて、五泉市ではこれからの季節、チューリップやぼたん、シャクヤクが咲き誇り、まさに「花のまち」として最も輝く時期を迎えます。また、日本一の生産を誇るニット産業をはじめ、豊かな資源が育む地場産品など、私たちの五泉市には世界に誇れる宝が数多くあります。市議会といたしましては、これらの地域資源を活かした活力ある街づくりを推進するとともに、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、全力で取り組んでまいります。

「市民の声が届く議会」として、議員一丸となり、公正で活発な議論を尽くしてまいります。

## 議長室から



議長  
林 茂

令和8年 第1回

2月  
定例会

## 新年度予算など32議案を審議

令和8年第1回2月定例会が2月24日に招集され、3月19日までの24日間の会期で開催されました。

初日の24日は、会期の決定、議長報告、専決処分の報告承認、各会計補正予算案など9件の議案を審議・採決後、新年度に向けた市長の施政方針の説明があり、続いて市政一般に関する質問の一部を行いました。

2日目の25日は、引き続き市政一般に関する質問を行い散会しました。

3日目の26日は、議案21件を一括議題として当局の提案説明を行い、議案と施政方針に対する総括質疑を行った後、各常任委員会に付託しました。また請願1件も所管常任委員会に付託しました。

最終日の3月19日は、委員会付託案件について各常任委員会の審査報告に続いて討論、採決が行われ、請願1件を採択としたほかは、それぞれ可決しました。その後、日程追加された、市長からの追加議案2件、議員発議1件を審議・採決して閉会しました。

## 【専決処分の報告承認、議第18号から議第23号について】

令和7年度の補正予算等については、年度内の処理が必要なことから委員会付託を省略して、活発な質疑による審議後、承認・可決しました。

※審議案件及び議決結果については、10・11ページをご確認ください

## 2月定例会の日程

月 日	内 容
2月24日(火)	本会議（開会、会期決定、議長報告、議案審議・採決、施政方針説明、一般質問）
25日(水)	本会議（一般質問）
26日(木)	本会議（議案上程、質疑、委員会付託、議長報告）
3月5日(木)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会、建設産業常任委員会
6日(金)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会、建設産業常任委員会
9日(月)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会、建設産業常任委員会
19日(木)	本会議（委員会審査報告・採決、議案審議、採決、議長報告、閉会）

# 総務文教常任委員会 審査報告

(主な質疑)

- ◎佐藤 渉 林 茂 鈴木 良民 鶴巻 裕子
- 魚野 洋樹 阿部 周夫 佐藤 良徳

## 総合会館改修事業、大ホール外部改修工事について【スポーツ推進課】

**問** 工事のスケジュールと内容について伺う。

**答** 令和8年度と9年度の2か年にわたって行う工事です。令和9年3月の雪が解けた時点で足場を組み、その後、4月から12月までの9か月間で行う予定です。

工事の内容は、雨漏りを改修するため屋根をカバー工法で覆う工事と、外壁の劣化や汚損を改善するため塗装を行う工事が主なものです。それに伴い、避雷針の撤去と仮設、新設の工事に加えて、気温の上昇を抑制するための遮熱フィルムを窓ガラスに貼り付ける工事と、正面玄関のタイルを張り替える予定です。

**問** 工事に伴い、総合会館の使用を中止する期間はあるのか伺う。

**答** 今回の工事が外部改修工事であるため、屋内の活動にはあまり支障が出るようなことはないと考えており、長い期間を使用中止とすることはないと考えています。

**問** 令和9年3月からの工事であると、物価の上昇も予想されるが、契約の中で物価上昇分の条項を入れるのか伺う。

**答** 契約書には、特に物価上昇分の条項はうたいませんが、五泉市建設工事請負基準約款にインフレスライドの条項があり、協議を行うということを進めたいと考えています。

## 普通財産流動化促進事業について【財政課】

**問** 普通財産流動化促進事業について、詳細な事業内容について伺う。

**答** 不動産業関係団体と連携して、普通財産の売却を促進する新規事業です。予算に計上しているものは、売却用の看板の設置と普通財産のコンサルティンクの費用です。

不動産業関係団体の会員の方から売却のためのアドバイスをいただきたいながら、金額の査定と、どういふふうにしたら売れやすいかを伺って進めていきたいと考えています。

(◎委員長 ○副委員長)

# 市民厚生常任委員会 審査報告

(主な質疑)

- ◎白井 妙子 羽下 貢 山田 正良 阪井 明子
- 熊倉 政一 波塚 静亮 小林 泰訓

## 住居表示整備事業について【市民課】

**問** 市民から何を切替えしなればいけないかとよく聞かれるが、必要な手続の案内はどのようにする予定か伺う。

**答** 住居表示は、10月中旬を実施日と決め、それに向けて動いています。住居に番号を付している程度形ができた後、8月頃に告示を行い、告示後に、1軒1軒に番号の通知をする際に、必要な手続の一覧のしおりを配布し、そのしおりに関しての説明会を9月過ぎに予定しています。広報やホームページ等でも周知する予定です。

**問** 必要な手続で代表的なものは何か伺う。

**答** すぐにとりかかるとは今のところはないと考えています。例えば免許証は更新時に手続を行うことで、十分問題ないと考えています。そのほか、なるべく手間をかけないよう関係機関と調整中です。

## 生きがい促進事業の敬老祝い商品券について【高齢福祉課】

**問** 令和7年度で終了とした敬老会の代替事業は、どのような内容か伺う。

**答** 五泉商業協同組合または村松さくらカード会の加盟店で使える1人当たり3,000円の商品券を贈呈します。対象人数は、喜寿を迎える77歳の方が982人。またこれまで敬老会の出席を78歳以上としていたことから、78歳を迎える方が敬老会に出席する機会がなかったということをおまえ、経過措置として令和8年度は78歳を迎える方についても対象としており903人、合わせて1,885人を見込んでいます。

(◎委員長 ○副委員長)



# 建設産業常任委員会 審査報告

(主な質疑)

◎深井 邦彦 桑原 一憲  
 ○佐藤 浩 長谷川政弘 大橋 建太

## 村松地区住居表示導入 支援補助金について

### 【商工観光課】

**問** 補助金の内容について伺う。

**答** 法人個人を問わず、住居表示実施区域内で事業を営まれている方を対象として、住居表示に伴い生じるゴム印や店舗の看板等の変更に係る経費の30%、100万円を上限に補助を行うものです。住居表示の告示後に各個人のお宅や事業所へ変更通知を行う際に、要綱を同封し周知する予定です。

**問** 告示後、補助金の受付開始前に、事業者が住居表示に伴う変更手続に着手した場合でも、対象となるのか伺う。

**答** 住居表示に伴い変更したことが確認できれば、対象経費として認めていきたいと考えています。

## 道路等包括的維持管理 事業について

### 【都市整備課】

**問** 事業に至った経緯及び事業内容を伺う。

**答** 経緯としては、運転手が定年退職により年々減り、個々の作業量が増えていること、また将来的には運転手がゼロになつてしまうため、道路等の維持管理業務の一部を民間委託し、民間ノウハウの活用と効率化を図り、市道や所管施設の安全性を確保したいと考えたためです。

内容については、市道及び施設の草刈り、除草作業、砂利道市道の整地作業を予定しています。

**問** 今後この事業を拡大していく予定はあるのか伺う。

**答** 将来的には、市道の維持管理として穴埋めやパトロール、また除雪業務等もお願いしていきたいと考えています。

(◎委員長 ○副委員長)

## 請願について

— 次の請願を採択しました。 —

### ◆請願第1

### 物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願

## 本会議のライブ配信を行っています

本会議開会中のみ配信となります。QRコードを読み取るか、**五泉市議会映像配信** で検索いただくと、議会中継のページをご覧ください。



**五泉市議会ホームページをご覧ください。**

<https://www.city.gosen.lg.jp/parliament/index.html>

市議会ホームページでは、議会だよりや議員名簿、議会の予定、議決結果など、五泉市議会の情報を発信しています。また、「会議録検索」をクリックすると、市議会本会議での会議録を閲覧することができます。



# 一般質問

# 問 答

## 12人が市政を問う！

【一般質問とは】 各議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。「議会だより」では限られた字数で広報委員会が編集しています。

編集方法は、本会議において各議員が行った一般質問の中から項目を1つに絞って編集を行っています。

質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は五泉市ホームページで6月頃から閲覧いただけます。



令和8年度からの  
五泉市国民保険税の  
引き下げについて

阿部 周夫 議員

**問** 令和7年11月28日に五泉市国民健康保険運営協議会が開催された。令和8年度からの五泉市国民健康保険税については、諮問を受けて協議の結果、国民健康保険税の引き下げを市長に答申した。五泉市国民健康保険特別会計における11億円を超えた財政調整基金を活用し、国民健康保険税の引き下げとなるが、現実的にはどれくらい引き下げになるのか。また引き下げについて国民健康保険加入者や市民への周知も必要と考える。当局の見解を伺う。

**答** 今年度、財政調整基金等を精査し、県が目指す保険税率統一までの間、財政調整基金を取り崩しながら、安定した保険税率となるよう、五泉市国民健康保険運営協議会で検討を重ね昨年12月に答申をもらった。改正後の保険税率は全体で所得割が3.41%の減、均等割が8,400円の減額、平等割が8,100円の減額となる。所得割が350万円で单身世帯の場合は年間12万円の減額となる。  
市民へは、広報ごせん、市ホームページで周知する。被保険者に対しては納税通知書にチラシの同封等を予定している。



五泉市における小規模  
特認校制度の導入と  
教育のあり方について

鶴巻 裕子 議員

**問** 当市は児童生徒数の減少に伴いこの4月から2つの小学校において複式学級が導入される。一方で、不登校児童生徒数は増加傾向にある。そこで直近の児童生徒数と不登校児童生徒数の推移を伺う。また、今後統廃合を見据えつつ、小規模特認校制度を活用しエナプラン等の特色ある教育を導入する学校を一か所でも残す方向で検討出来ないものか。学びの多様化や誰一人取り残さない教育そして、地域づくりや移住定住の促進にもつながると考えるが、当局の見解を伺う。

**答** 児童生徒数は現在小中学校合計2,817人、令和8年4月見込みは合計で2,687人、130人の減少となる。不登校児童生徒数は小中学校合わせて93名、不登校傾向児童生徒数は合わせて45名を把握している。小学校の統廃合を進める必要があると考え、地理的条件等により小規模特認校の設置は現時点においては検討はしていない。今後、先進地事例などを研究してまいりたいと考えている。全ての学校で多様な子供たちが個別最適な学びを通して力を身につけられるよう、教育の充実に取り組んでいく。



山王中学校跡地の  
利活用について

桑原 一憲 議員

**問** 山王中学校跡地は民間事業者や各種団体、地域住民と連携することで、追加コストを抑えつつ、地域の活性化、新たな雇用創出、そして市民サービス向上につながる再生が可能と考える。これまで市への意見や要望、具体的な引き合いがどのように検討されたのか、その詳細を伺う。また、検討結果や具体的な条件の公開を通じて、透明性を確保し、地域との合意形成を図ることで、活気あるまちづくりへと波及させるべきと考え、市長の見解を伺う。

**答** 閉校後、校舎は大学応援団の合宿や映画撮影など、例年3件程度の利用があったが、令和6年以降の利用はない。

校舎は雨漏りにより複数教室や廊下の天井が落下し漏電の危険もあり、現在貸出しは行っていない。体育館も雨漏りのため今年度末で閉鎖することになっていく。

今後の施設利用については、防水工事等で多額の費用が必要であり困難と考えている。グラウンドについては、詳細は言えないが、国営事業に利用可能か相談をいただいている。



人口減少における  
安心して暮らせる  
まちづくりについて

羽下 貢 議員

**問** 2期目は田邊カラーを前面に、温故創新のキャッチフレーズどおり新しい五泉のまちづくりの決断と実行を期待しているが、急激な人口減少におけるまちづくりについて担当課だけでなく、各課横断的なチームをつくるなど、新しいスキームが必要ではないか。行政が本気で市民と向き合い、問題・課題の本質を捉えて、市民に分かりやすい事業、施策を実施すべきだと思いが、見解を伺う。

**答** 市における人口減少の状況は、令和8年1月末現在4万4,629人で合併時から1万3,807人減少した。市の定住対策としては、住宅取得に関する支援・子育て施策の充実など若い世代の定住施策を進めている。また、Uターンを促すため「にいがた鮭プロジェクト」を活用した情報発信に取り組んでいる。人口減少に関して市は一貫して交流人口を増やし、関係人口を増やし、五泉ファンを増やすことで移住・定住・二拠点居住の増加につなげていく。現在一つの部署での解決が難しくなっており、庁内横断型のプロジェクトチーム、いわゆるクロスファンクショナルチームの設置など、庁内連携体制の整備を図っていく。



市民後見制度の  
活用について

山田 正良 議員

**問** 特に市民が後見人として活動する市民後見制度は、地域に根差した支援体制の強化に有効な手段であり、その活用促進が求められている。一方で、後見人の多岐にわたる手続きを各窓口で個々に行う必要があり、負担の軽減、解消が求められている。成年後見人等が各種通知の送付先変更を一括して登録、変更できる手続きの導入が必要と考える。縦割り行政を打破して横串を刺す一括制度の導入について伺う。

**答** 今後も高齢化に伴い認知症になる人は増加していくと推計されており、成年後見制度の利用者はさらに増加していくことが見込まれる。国民健康保険や後期高齢者医療、介護保険などの手続について、該当する部署ごとに手続を受け付けている。ワンストップで送付先を登録、変更できる制度の導入については、他市でも事例があり、住民サービスの向上と事務の効率化につながる制度であるため、今後研究していく。



老朽化した  
インフラ整備について

小林 泰訓 議員

**問** 老朽化したインフラの整備について、市民のライフラインに直結していると言われる電気、ガス、水道をはじめ、橋梁、道路について、市としてどう整備を行っていくのかを伺う。

**答** 老朽化したインフラの整備として、市内に布設されている水道管のうち法定耐用年数の40年を超えている割合は令和6年度末で18.8%となっており、布設年度が古く、地震に弱いとされる石綿セメント管から優先して更新を進めている。下水道の汚水管路については法定耐用年数の50年を超えているものはないが、腐食の恐れが大きい70か所を5年に分けて毎年点検している。雨水管路については布設後おむね50年を迎える管路から調査を行い、長寿命化を進めている。ガス、電気については民間事業者の提供しているものだが、道路占有物が危険な状態にあった場合は、道路管理者として指導を行う。ライフラインやインフラは生活、生命維持に必須な社会、経済活動の基盤となる重要な施設であることから、今後も適正な維持管理に努めていく。



起業家への  
支援について

白井 妙子 議員

**問** 空き家や空き店舗が年々増え、活気がなくなってきたのが五泉市の課題の一つである。放置による建物の老朽化や犯罪リスクを回避し、地域の活性化を図るため空き家や空き店舗をリノベーションし、実際に起業され頑張っている方がいる。雇用の機会が不足している五泉市として、起業家へ支援することによって地域雇用の促進につながる、新しい起業家が生まれ、それにより雇用も生まれる。そのような方々に対して支援ができる取組が重要と思われるが、見解を伺う。

**答** 新たにビジネスをゼロから始める方を対象に、平成28年度より、ごせん起業家応援事業を創設し、起業に必要な店舗の新築、増改築費用や改修費を支援するとともに、店舗を借りる際の賃借料の支援を行っている。市内で多くの方が起業することで、まちがにぎわい、地域が活気づくと考えており、今後とも関係機関と連携し、一人でも多くの方が起業され、地域経済の活性化につながるよう、起業支援に手厚いまちとなるように努めていく。



介護保険事業について

波塚 静亮 議員

**問** 介護保険制度発足から25年を迎える中、①市内の介護人材不足の現状と見通し（特にケアマネジャー）、②訪問介護事業者の経営状況と具体的支援、③介護保険料のさらなる低減、④第10期介護保険事業計画の策定日程について伺う。

**答** 市内約7割の事業所で人材が不足しており、ケアマネジャーの直近雇用者数は51人と前年の54人から減少し、約25%が60歳以上である。現在、介護人材確保支援事業の実施や市内小学校での出前授業により人材確保に取り組んでいる。訪問介護事業所の倒産・廃業の報告はないが、重点支援地方交付金による運営費助成を行っている。令和8年度に前倒しで実施される介護報酬改定（全体+2.03%）では、ケアマネジャーを含む処遇改善（+1.95%）も図られる。介護保険料は月額6,200円に引き下げており、今後さらなる低減に努める。第10期計画は令和8年7月頃から市民会議を4回開催し、令和8年度中に策定する予定である。



今後の五泉市の  
財政について

大橋 建太議員

**問** 田邊市政2期目が始まり、次の4年に向けたスタートを切った。本市の財政収支見通しでは、令和14年度には歳出超過が見込まれ、市の貯金である財政調整基金の残高減少も想定されているなど、今後の財政運営には一定の課題が見込まれている。令和8年度から12年度を担う今期の市政運営において、将来を見据えた持続可能な財政運営をどのような方針のもとで進めていくのか、当局の見解を伺う。

**答** 市税収入は人口減少や少子高齢化により横ばいで推移する一方、賃金上昇や物価高の影響により歳出は増加する見込みである。このため、評価を重視した見直しにより事業の選択と集中を基本方針として取り組んでいく。また、公共施設の統廃合や改修費の平準化、LED化等による経費削減を図るほか、遊休地売却やふるさと納税の活用などにより歳入確保に努め、健全で持続可能な財政運営に努めていく。



若者の結婚新生活支援の  
強化及び子育て世帯への  
紙おむつ支援について

魚野 洋樹議員

**問** 若い世代の定住促進と子育て支援の充実について伺う。高齢者に対するおむつ助成制度はあるが、子育て初期で最も負担の大きいゼロ・一歳児世帯への支援は十分とは言えない。おむつ補助制度の必要性和導入の考えについて市の見解を伺う。また、結婚や新生活に伴う住宅取得等への支援は重要であるが、現行制度は十分とは言えない。支援拡充について市の見解を伺う。

**答** 令和4年度から結婚新生活支援事業補助金を実施し、住宅取得やリフォームも対象に加え若者の定住・転入促進を図っている。県内でも多くの自治体が実施し一定の効果があると評価する一方、夫婦合計所得500万円未満の所得要件が利用件数に影響していると認識する。今後も国制度を活用し継続していく。また、おむつ等については乳幼児を対象に一人2万円を給付する独自事業を実施し、3月末をもって事業完了となる。今後も物価高騰による負担軽減、そして子育てに係る費用支援を検討していく。



介護人材確保に向けた  
取組について

佐藤 良徳議員

**問** これから迎える後期高齢者の数の増加に対して要介護者となる数も増加し、新潟県内では、2040年までに約4,000人の介護職員が不足すると試算されている。既に五泉市では労働人口が減少し、介護人材の確保に窮迫している。誰もが必要なときに必要な介護サービスを受けることができれば、さらに人口の流出が進むことにつながる。本市での介護人材の確保に向けて、市独自の対策が必要と考える。今現在の状況と今後の取組方針について伺う。

**答** 現在の状況では、令和5年度に実施した市内事業所へのアンケート調査では、約7割の事業所で人材が不足していると回答がある。市内事業所の介護職員の状況を踏まえた現状把握のため、介護人材実態調査を実施し、必要な施策を検討する。介護人材の確保については、介護職員の定着のための介護現場の生産性向上の取組と併せ、市長会を通じて継続して県へ要望するとともに、国と県と連携しながら粘り強く取組を進めていく。



五泉での  
子育てについて

阪井 明子 議員

**問** 五泉市の子供や赤ちゃんに対する健診や支援等の対応は、とてもよくできていると思う。今は、五泉の保健センターも新しくなり、ママサロンで悩み相談もできる時代になった。しかし、もう一步踏み込んだ産後ママケアや育児ケアがあればと思うが、見解を伺う。また、子供の数は減ってきているが、発達障害の児童は増えてきている。発達障害児童の放課後の居場所について伺う。

**答** 出産後のケアについては、こども家庭センターで助産師・保健師が常勤し対応している。市内に助産院が開院し、来所・訪問・宿泊ケアを利用した際の助成も行っている。また、家事や育児に不安と負担を抱える子育て家庭には世帯訪問支援を開始した。ファミリーサポート事業では、預かり保育や買物等の補助を行い、育児不安の解消を図っていききたい。新年度より就学前の発達状況の早期把握と対策のため、5歳児健診を実施し不安を解消できるように努める。発達障害の児童への支援として、放課後デイサービス事業所が市内に4か所あり、生活力向上を目的とした支援を行っている。

## 発議について

— 次の発議を可決しました。 —

### ◆発議第1号

【送付先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

## 物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書

いま年金生活者は、異常な物価高が続く中で苦しい生活を強いられている。米は高値が続き、野菜などの生鮮食料品に加え、電気ガスや灯油など生活に欠かせない消費品目での高騰が続いている。総務省の発表では、令和7年7月の全国の消費者物価指数は、1年前と比べても3.1%も値上がりし、物価上昇は47か月連続している。

厚生労働省は、令和7年度の年金額を、物価が2.7%上がっているにもかかわらず、マイナス0.8%の1.9%で改定した。物価に追いつかない年金額改定が続き、平成25年度からの13年間で物価は14%上昇したが、年金額は5.4%しか上がらず、8.6%も実質的価値が目減りした。この間、消費税は5%から10%へと2倍になり、介護保険料や利用料、医療保険料や窓口負担がアップされ、可処分所得は大きく目減りしている。

年金だけでは生活できず、仕事に就く65歳以上の高齢者が令和4年には912万人と過去最多になり、働くことができない高齢者世帯はやむなく生活保護に頼らざるを得ず、生活保護受給者の増加は自治体財政にも影響している。高齢者世帯に支給される年金のほとんどは消費にまわる。年金減額は購買力の減退につながり、その分地域経済の冷え込みに直結する。住民税や介護保険料、国民健康保険料や後期高齢者医療保険料の納付額にも連動する。また、年金減額は、若い世代の年金額の低下につながり、公的年金制度への不信につながりかねない。

先の国会で年金制度改正法が成立したが、年金改善は4年後に先送りとなった。現在の物価高騰による厳しい年金生活の改善には間に合わない。異常な物価高が続くいま、直ちに物価上昇に見合う年金額引き上げが、高齢者の生活安定と地域活性化につながる。

よって、国におかれては、若者も高齢者も安心して暮らしていけるように次の事項について強く要望する。

記

1. 物価上昇に見合う高齢基礎年金等の支給額を改善すること。
2. 若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように改善を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年3月19日

新潟県五泉市議会

議長 林 茂

主な議案の議決結果【第1回 2月定例会】

【○：賛成，●：反対，－：欠席】

提出者	審議案件	本会議議決結果	議案概要																			
			議員名(議席番号順)																			
			1 魚野 洋樹	2 阪井 明子	3 小林 泰訓	4 鶴巻 裕子	5 大橋 建太	6 佐藤 良徳	7 山田 正良	8 波塚 静亮	9 深井 邦彦	10 桑原 一憲	11 白井 妙子	12 佐藤 浩	13 長谷川 政弘	14 佐藤 渉	15 鈴木 良民	16 熊倉 政一	17 剣持 雄吾	18 羽下 貢	19 阿部 周夫	20 林 茂
議第1号	専決処分の報告承認について (令和7年度五泉市一般会計補正予算(第7号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第2号	専決処分の報告承認について (令和7年度五泉市一般会計補正予算(第8号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第3号	専決処分の報告承認について (令和7年度五泉市一般会計補正予算(第9号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第4号	川内辺地に係る総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第5号	五泉市過疎地域持続的発展計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第6号	五泉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第7号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第8号	五泉市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第9号	五泉市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第10号	五泉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第11号	五泉市職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第12号	五泉市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第13号	五泉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第14号	五泉市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第15号	五泉市学校給食費徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第16号	五泉市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※1 法律に特別の定めがある場合を除く外、地方自治法第116条の規定により、議長は評決に加わっていません。

提出者	審議案件	本会議議決結果	議案概要																			
			議員名(議席番号順)																			
			1 魚野 洋樹	2 阪井 明子	3 小林 泰訓	4 鶴巻 裕子	5 大橋 建太	6 佐藤 良徳	7 山田 正良	8 波塚 静亮	9 深井 邦彦	10 桑原 一憲	11 白井 妙子	12 佐藤 浩	13 長谷川 政弘	14 佐藤 良民	15 鈴木 政一	16 熊倉 雄吾	17 剣持 貢	18 羽下 周夫	19 阿部 周夫	20 林 茂
市	議第17号	市道の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第18号	令和7年度五泉市一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第19号	令和7年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第20号	令和7年度五泉市介護保険特別会計補正予算(第6号)	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第21号	令和7年度五泉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第22号	令和7年度五泉市水道事業会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第23号	令和7年度五泉市下水道事業会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第24号	令和8年度五泉市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第25号	令和8年度五泉市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	長	議第26号	令和8年度五泉市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議第27号	令和8年度五泉市川東財産区一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議第28号	令和8年度五泉市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議第29号	令和8年度五泉市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議第30号	令和8年度五泉市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議第31号	令和7年度五泉市一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第32号	五泉市副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願者	請願第1号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願	採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議員	発議第1号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の提出について	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

※1

※1 法律に特別の定めがある場合を除く外、地方自治法第116条の規定により、議長は評決に加わっていません。



栗島／嘯月橋より



一本杉／チューリップまつり会場

編集後記

木々の芽も膨らみ春の気配が感じられる季節となりました。花シリーズである水芭蕉、桜、チューリップ、ポタン、シヤクヤクも五泉市に華を添えてくれます。また、4月は出会いの季節、新しい環境の中で新たなスタートを切った方も多いのではないのでしょうか。

2月24日から3月19日まで2月定例会が開かれ、活発な質疑や討論が行われ、慎重審議した結果、新年度予算が可決されました。市民の皆様と議会と行政が協働し、より良い五泉市にしていくよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年の4月1日から、いよいよ自転車の違反にも「青切符」が適用されることになりました。(対象年齢は16歳以上となります。) 自転車に乗られる市民の皆様、ルールを守る意識を高めながら、爽やかな五月の風を感じながら、春の季節をお楽しみください。

■広報委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 佐藤 良徳 |
| 副委員長 | 佐藤 涉  |
| 委員   | 阿部 周夫 |
| 委員   | 桑原 一憲 |
| 委員   | 大橋 建太 |
| 委員   | 阪井 明子 |
| 委員   | 魚野 洋樹 |

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。 五泉市議会事務局 TEL 0250-43-3911